

新しい力を求めます

# 令和5年度 浪江町職員採用候補者試験

## 大学卒程度(行政職)・資格免許職(保健師・保育士)

試験職種・採用予定人員・受験資格・主な職務内容

試験職種		採用予定人員	①受験資格 ②主な職務内容
大学卒程度	行政職	3人程度	①平成5年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人(学歴不問) ②行政全般に関する企画立案、調査、連絡調整、相談業務などの事務全般
資格免許職	保健師	若干名	①昭和62年4月2日以降に生まれた人で、保健師免許を有する人または令和5年3月末までに取得見込みの人 ②健康診断、母子保健、老人保健、感染症予防、健康教育・相談業務などの行政機関における保健衛生事務全般
	保育士	若干名	①昭和62年4月2日以降に生まれた人で、保育士資格および幼稚園教諭免許を有する人または当該資格および免許を令和5年3月末までに取得見込みの人 ②認定こども園の運営業務、子育て支援業務、保育行政事務など全般

※職務経験期間の有無、資格および免許の確認のため、最終合格決定後に資格証の写し、免許証の写しおよび在職期間証明書などの提出が必要です。採用時に資格証および免許証の写しの提出がされないときは、内定の取消しなどを行う場合があります。また、採用時に普通自動車免許を有していることが条件です。

■受付期間 5月11日(水)～6月10日(金)まで(執務時間中に限る)

郵便による申込書提出の場合は、6月8日(水)までの消印のあるものに限り、受け付けます。

■採用予定時期 令和5年4月1日以降

▷第1次試験

●試験日時 令和4年7月10日(日)

「受付」9時～9時30分 「教養試験」10時～12時

「専門試験」13時～15時(保健師は14時30分まで) ※「専門試験」終了後に適性検査を実施。

●試験会場 福島大学(福島市金谷川1)(※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、変更となる場合があります。)

●発表 令和4年8月下旬(受験者に通知)

▷第2次試験

令和4年9月下旬頃を予定。第1次試験合格者に別途通知します。

■職員採用候補者試験の申込用紙請求・申込書送付・問合せ先

〒979-1592 浪江町大字幾世橋字六反田7番地2 浪江町役場 総務課行政係

TEL 0240(34)2111(代表) TEL 0240(34)0235(直通)

※申込用紙は、町ホームページからもダウンロードできます。

### 先輩職員に聞きました



一般行政職  
市瀬 裕貴  
(令和3年度採用)

●現在担当している仕事の内容は？

町内のエネルギー政策に関する仕事をしています。浪江町内でエネルギーを無駄なく有効に利用するための仕組み(スマートコミュニティ)について、関連事業者と共同しながら進めているところです。

●採用試験を受験した時心掛けていたことは？

公務員試験の過去問題集を中心に、問題の出題傾向を調べて勉強をしました。採用試験の準備において、自分がより重点を置いたのは二次試験の小論文で、論文の題材になるような、浪江町の課題などについて自分の中で整理して考えていました。

●浪江町職員となって良かったと感じることは？

原発事故の影響を受けた浪江町が復興の1つの柱として取り組む再生エネルギー政策に携われることが良かったと感じています。普段、住民の方と直接関わる事は少ないのですが、水素に関連したイベントを実施する中で町民の方と接し、町民の皆さんが感心を持っていることを知れて、とても嬉しく感じました。

●これから浪江町を受験する人へのメッセージを！

町内に立地している福島水素エネルギー研究フィールドは、今注目されている「水素」の世界最大級の製造拠点です。今後は、さらに様々な事業者の進出が期待されるなど、まさに再生エネルギーの最先端の取り組みが行われています。

そのような環境の中、まちづくりを行うことが出来るとても魅力のある職場だと感じています。これから一緒に働くことをお待ちしております。



一般行政職  
西谷地 勝成  
(令和3年度採用)

●現在担当している仕事の内容は？

浪江町の農業再生のため、町内7地区の農地のほ場整備事業に係る地区住民との合意形成や関係機関との調整を行っています。

●採用試験を受験した時心掛けていたことは？

「原発被災地の復興に貢献したい」との強い気持ちを抱き目指しました。過去に出題率が高い分野や自分が苦手な分野についての対策を重点的に行い、二次試験対策としては、事前に町のホームページや浪江町出身の方に話を聞くなどし、町の状況についての情報を収集しました。また、家族が勉強に専念できるようサポートしてくれたことも大きかったと思います。

●浪江町職員となって良かったと感じることは？

原発事故による全町避難からの町の復興・再生に携われることができることです。ほ場整備の関係で、地区の皆さんとの話し合いを進める中で、次第に自分の名前と顔を覚えてもらえるようになり、最近は感謝の言葉もいただけるようになりました。町民の方に認めてもらえるようになったと感じられることが何よりも励みになります。

●これから浪江町を受験する人へのメッセージを！

東日本大震災そして福島第一原発事故から11年が経過しましたが、町の復興は途中段階となっており、まだまだ解決すべき課題が沢山あります。

そのような中、町民の皆さん、そして浪江町での生活を求めている人に、住んでみたい、住んで良かったと思ってもらえる様なまちづくりに私たちと一緒に携わってみませんか。